

試行版

医療と介護の連携シートの運用ルール等について

目的

高齢者が住み慣れた地域で安心して療養生活を送るために、医療と介護の関係機関が連携し一体的にサービスを提供することが重要です。

医療と介護の関係者のだれもが、効率的・効果的に医療・介護の連携を推進する仕組みづくりを目的に利用できる連携シートを作成するものです。

連携シートの利用者

名取市・岩沼市・亘理町・山元町に所在する事業所のケアマネジャー並びに医療機関の医師及び担当者

連携シートの対象者

名取市・岩沼市・亘理町・山元町在住の医療サービスや介護サービスを利用している方で、以下のいずれかに該当する方

- ① ケアマネジャー等担当者が積極的に連携支援をとる必要があると判断した方
- ② 本人や家族からの確な情報が得にくい方
(独居, 認知症, 要介護度の重度の方, 医療処置のある方等)

連携シートの種類と使用ルール

(1) 連携シートに共通するルール

連携支援に対する負担を最小限とすることを前提として使用します。

- ① 連携シートの記入は、手書き・パソコン入力どれでも可とします。
- ② 連携シートのやり取りについては、持参・FAX・メールなどの方法がありますが、FAX・メールの場合は、これらの方法で送付することの了承を電話で相手よりもらい、対象者名等の個人情報にはマスキングすることとします。

(2) 医療と介護の連携シート（医師・歯科医師・薬剤師・ケアマネジャー連絡票）

医療・介護の他職種がこのシートを利用し、双方向による情報共有に使用します。

- ① 慢性疾患を中心に緊急性を必要としない場合の連絡に使用します。
- ② シートの内容は簡易なものであり、費用負担は発生しません。

(3) 医療と介護の連携シート（入院時情報）

入院時にケアマネジャーが病院等へ向けて対象者の「入院前の状況」を積極的に提供するために使用します。退院に向けて、本人や家族にどのような支援が必要になるかを考えるための情報になります。

- ① 入院後、本人や家族等の状況からみて、積極的に支援が必要と判断したときは、ケアマネジャーが速やかに提出するように努めます。
- ② 病院等は、シートの提出がなかった場合にケアマネジャーへシートの提出を求めることができます。

(4) 医療と介護の連携シート（退院・退所情報）

ケアマネジャーが退院・退所前にカンファレンス等において病院等のスタッフから得た情報をまとめるために使用し、サービス計画書作成の際に利用します。

- ① 原則的に、情報収集は直接病院等に出向いて行います。
- ② 提供された看護サマリー等の情報で対応することもできます。

個人情報の保護

- ① 連携シートには、対象者等の身体機能等の数多くの個人情報が含まれているため、保管等取り扱いには、細心の注意を払うようにします。
- ② 連携シートの記入及び提供にあたっては、事前に対象者や家族に趣旨をよく説明し、対象者及び家族の同意を受けることが必要です。

その他

連携シート及び使用のためのルールは、適宜必要に応じて改良を行っていく予定です。